

ふみびと

第369号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

言葉でつながる まだ見ぬ誰かと

働くこと

いくつになるまで働いているだろう。たまに考えるそんなこと。

一昔前までは一般的に60歳が定年とされていて、いわゆる「余生」としてこれから何をして過ごすか、そんな風に考える年齢だったのかもしれない。
今では65歳、70歳まで働くことも珍しいことではなく、私の知り合いにも75歳を過ぎても第一線でバリバリと働いている人も。

そんな人を目の当たりにしていることもあって、そういうことを考える機会が多いのでしょうか。

そんな時に目にしたのが、最近色々なメディアで注目を集めている、全国で最高齢のマクドナルドのクルー（従業員）の女性のお話の記事。92歳という年齢で、店舗の清掃などの業務に携わっている本田民子さん。働くことが好きで、家などでじっとしているのは苦手とのこと。



いつも働けることに感謝をしているという本田さんは、他のスタッフの方やお客様にも好かれていて、一度は腰痛を理由で退職されたそうですが、周りからあまりにも慕われていたことも感じて翻意したのだそうです。

高齢になっても働くのは体力的にも大変なことですし、定年を過ぎてまで働きたくないという人も多いと思うのですが、

手紙を書く

便箋を広げるたび、心は静かに澄んでいく。手紙を書くという行為は、誰かに向けて、自分の思いをそつと差し出すようなものだ。相手の声も姿も知らないのに、不思議と親しみを感じるのは、言葉がゆっくりと関係を育んでくれるからだだろう。今の季節のこと、自分の好きなもの、ふと考えたこ

と。書き進めるうちに、自分自身の思考が整い、心がやさしく形づくられていく。返事があつたらもちろん嬉しい。けれど、それよりも、この手紙を書いた時間そのものに、価値があるのかもしれない。

相手を想うことで、自分を見つめ直す。そして、いつかどこかでその人がこの手紙を読んでくれていると想像するだけで、嬉しくなる。そうして過ごした時間は、忙しさの中で置き去りにされがちな一日を、少し特別なものにしてくれる。そして、静かな満足感が、そつと私の心を満たしていく。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛先に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書きだす。事務信同の筒さで流す。宛封下まで交り局用封今いま



次回発送日

5月の2回目の発送日は6月2日の予定です。送りたいお手紙がある場合は5月30日までに事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。

感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂き、方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報伏せした上でご紹介させて頂きます。ご要望等もお気軽にお送りください。

